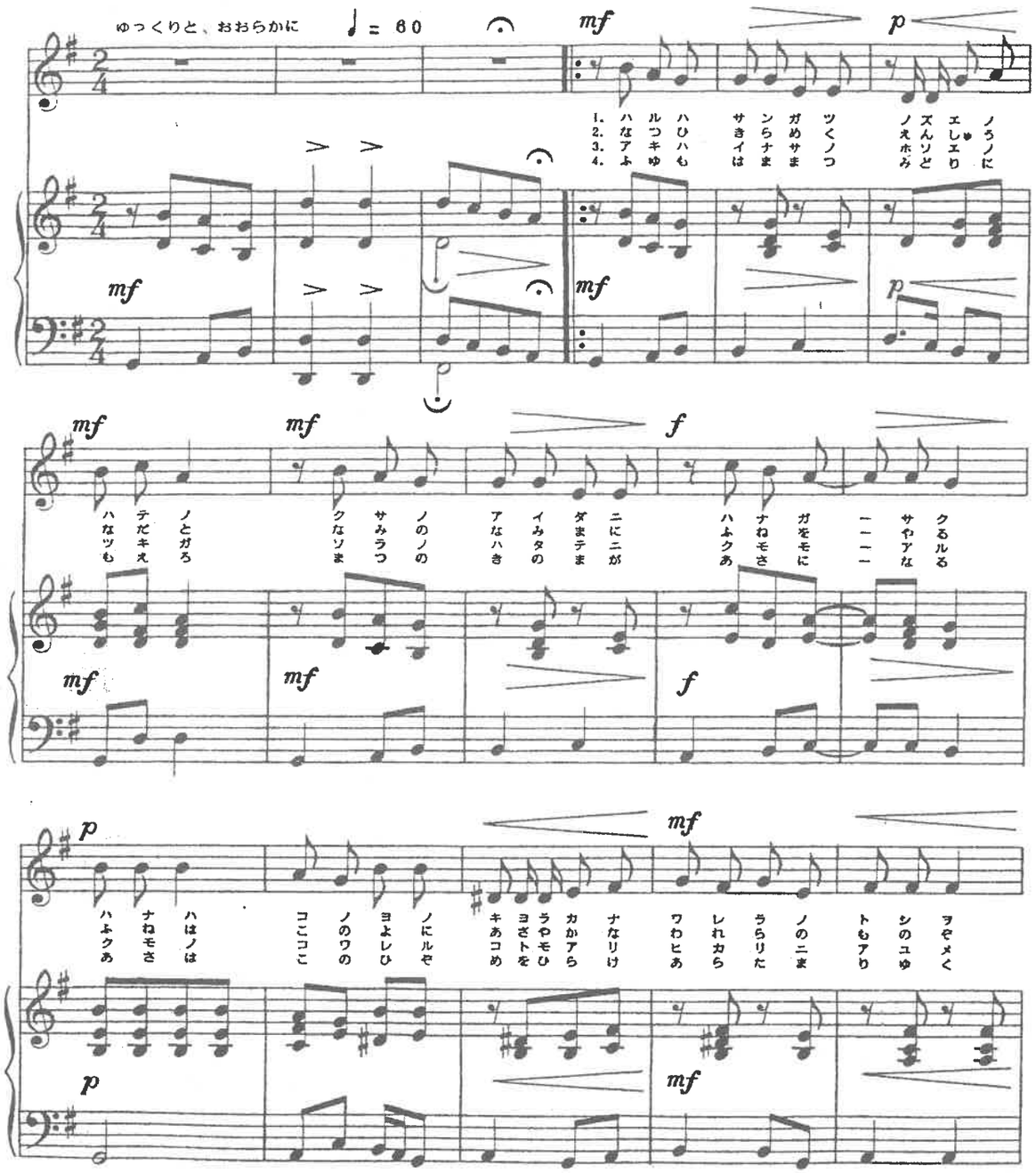
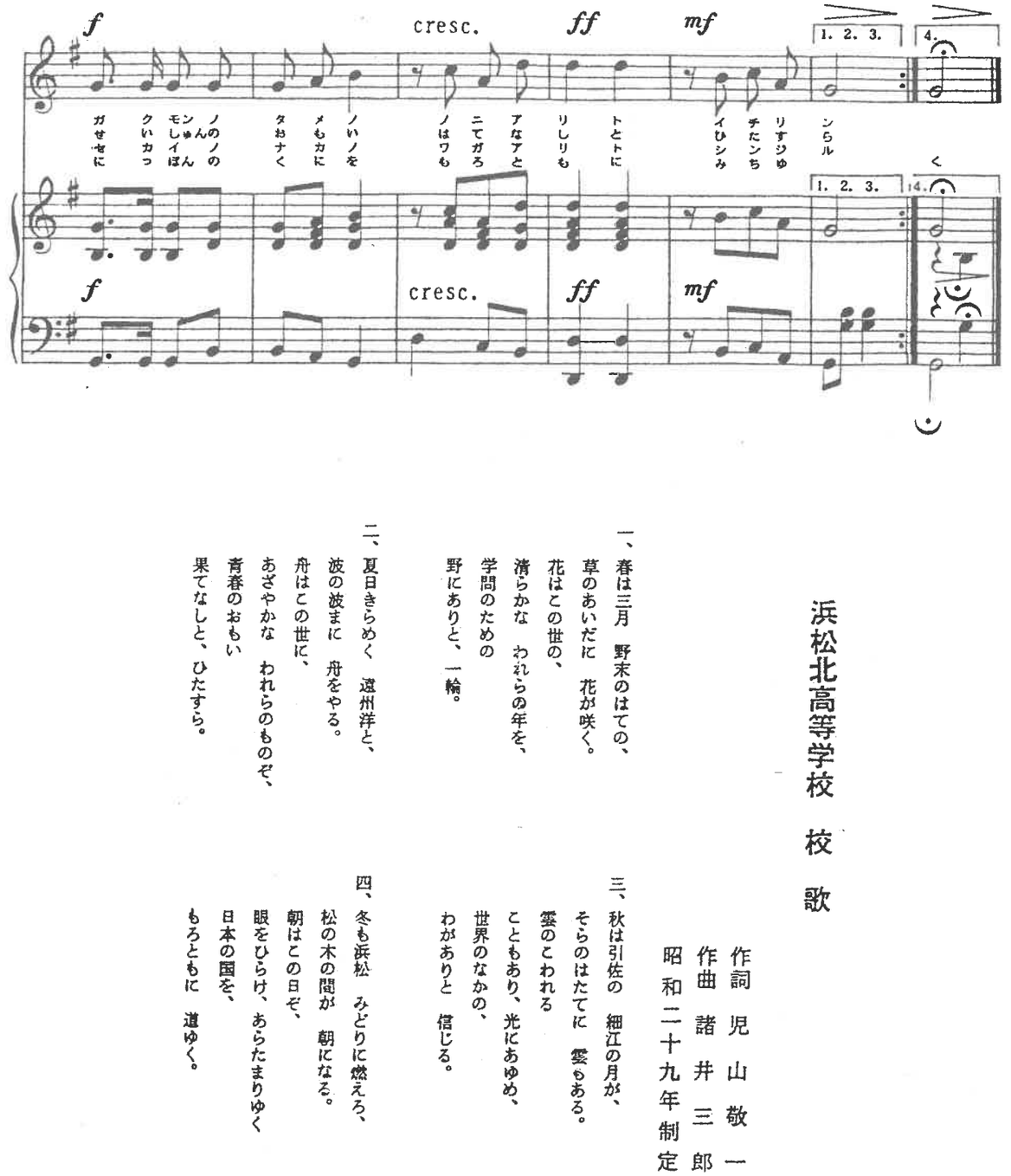
静岡県立浜松北高等学校　校歌

作詞　児山敬一
作曲　諸井三郎





浜松北高等学校　校歌

作詞　児山敬一
作曲　諸井三郎
昭和二十九年制定

一、春は三月　野末のはての、
草のあいだに　花が咲く。
花はこの世の、
清らかな　われらの年を、
学問のための
野にありと、一輪。

二、夏日きらめく　遠州洋と、
波の波まに　舟をやる。
舟はこの世に、
あざやかな　われらのものぞ、
青春のおもい
果てなしと、ひたすら。

三、秋は引佐の　細江の月が、
そらのはたてに　雲もある。
雲のこわれる
こともあり、光にあゆめ、
世界のなかの、
わがありと　信じる。

四、冬も浜松　みどりに燃えろ、
松の木の間が　朝になる。
朝はこの日ぞ、
眼をひらけ、あらたまりゆく
日本の国を、
もろともに　道ゆく。